

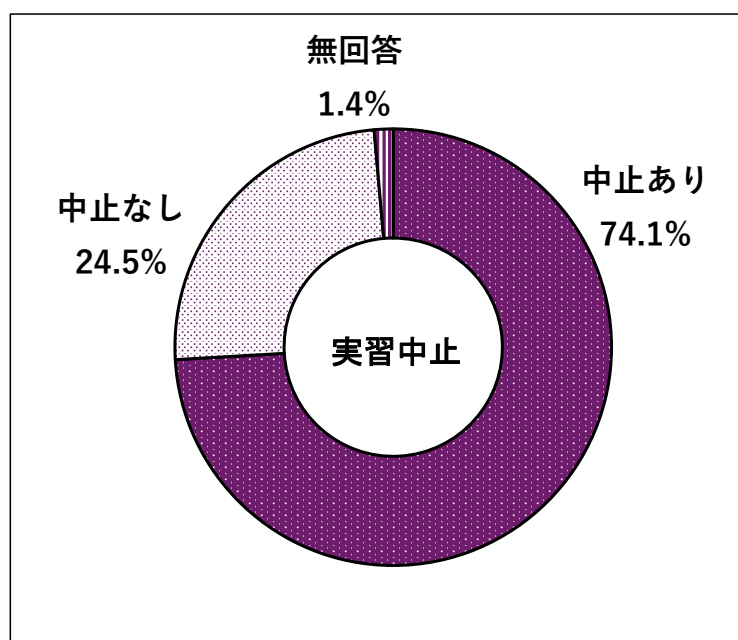
⑤ 代替実習の形態と効果を知る



大阪府立大学大学院看護学研究科

細田泰子

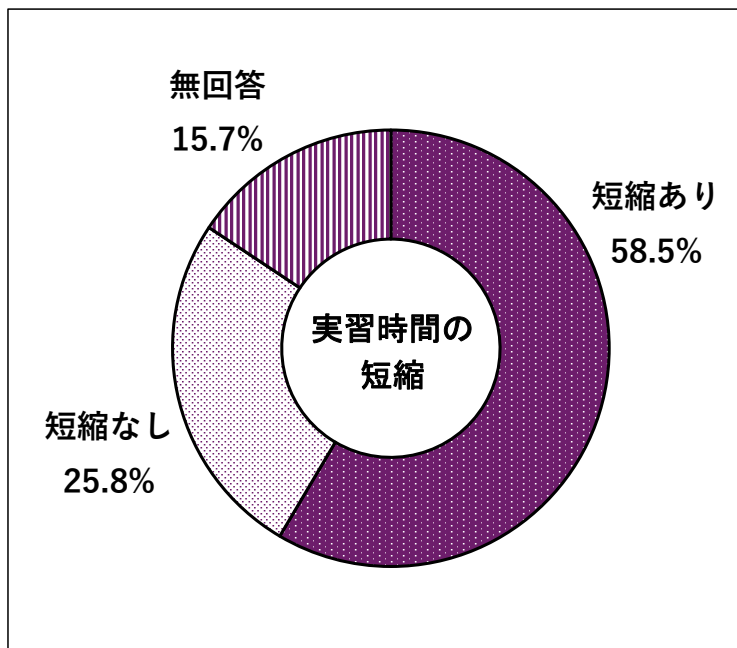
COVID-19流行による 臨地での実習中止



科目別の調査において臨地実習の「中止あり」
955件 (74.1%)

専門領域	中止あり n(%)
基礎看護学	113(63.8)
成人看護学	137(69.9)
老年看護学	117(81.8)
母性看護学	87(81.3)
小児看護学	97(80.2)
精神看護学	82(78.1)
在宅看護学	99(85.3)
看護の統合と実践	104(73.8)
助産学実習	29(65.9)
公衆衛生看護学実習	79(64.2)
無回答	11(68.8)

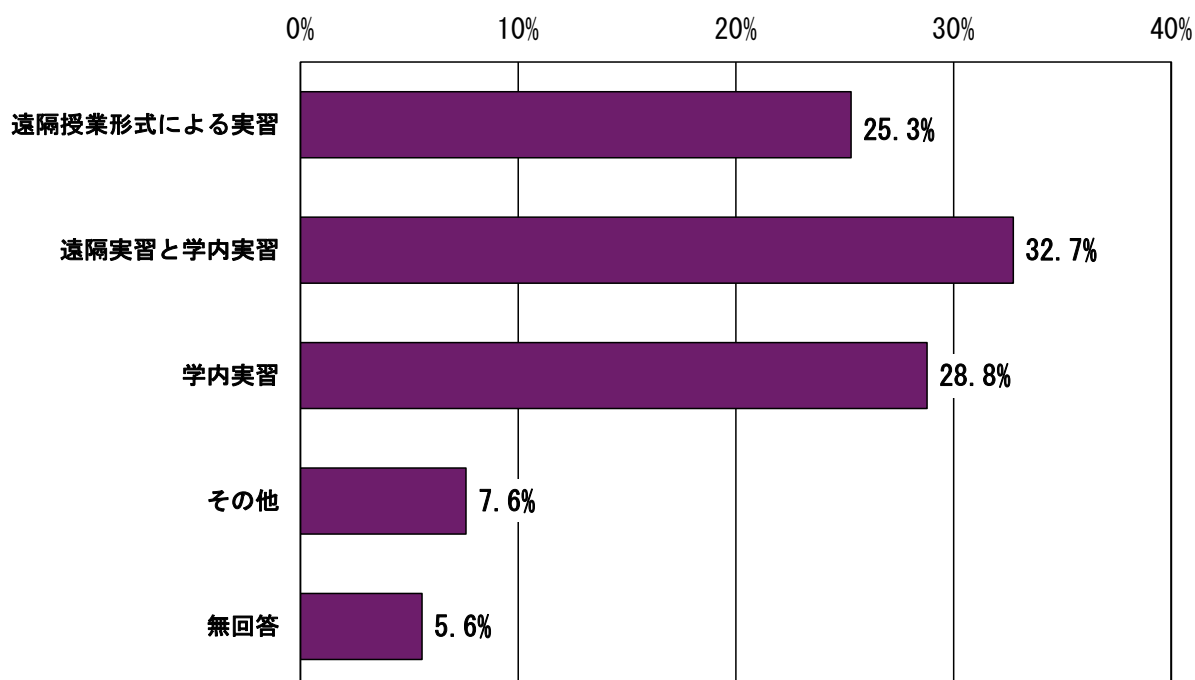
COVID-19流行による 臨地での実習時間の短縮



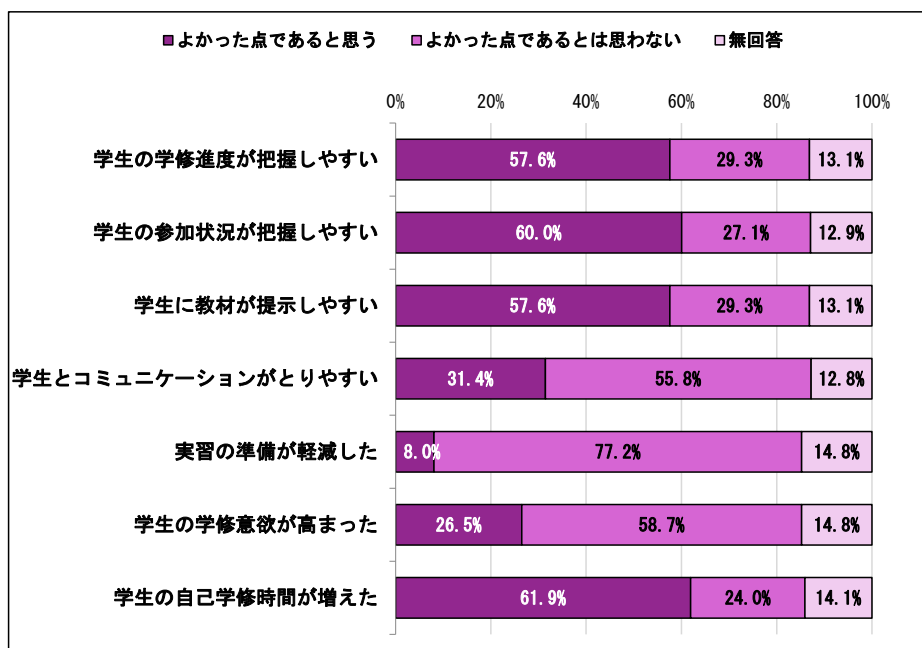
科目別の調査において実習時間の「短縮あり」
754件 (58.5%)

専門領域	短縮あり n(%)
基礎看護学	103(58.2)
成人看護学	116(59.2)
老年看護学	83(58.0)
母性看護学	65(60.7)
小児看護学	72(59.5)
精神看護学	61(58.1)
在宅看護学	61(52.6)
看護の統合と実践	78(55.3)
助産学実習	31(70.5)
公衆衛生看護学実習	78(63.4)
無回答	6(37.5)

臨地での実習延期・短縮・中止に伴う 代替実習の形態



遠隔授業形式による実習の効果

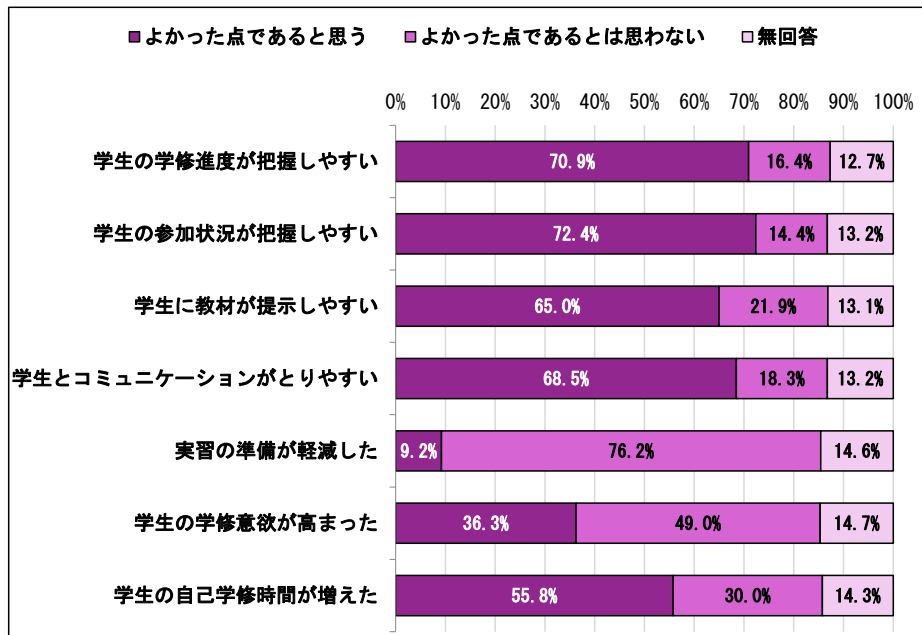


遠隔授業形式による実習の効果（自由記述より）

- 【学生の知識・理解や思考過程の学修の強化】
- 【臨地とは異なる遠隔での学修の展開】
- 【学生間のグループワークでの学びの深まり】
- 【遠隔による専門職や対象者との関わり】
- 【学生の学修意欲や主体性の高まり】
- 【実習施設への通学時間減少に伴う学修時間の増加】
- 【学生の感染リスクの軽減と安全性の確保】
- 【個々の学生の学修状況や考えの把握のしやすさ】
- 【学生への個別指導や対応のしやすさ】
- 【充実した看護過程の展開への取り組み】
- 【他者の取り組みや意見からの学び】



学内実習の効果



学内実習の効果（自由記述より）

- 【教材や学修内容への取り組み】
- 【学生間のグループワークでの学びの深まり】
- 【学生の学修意欲や主体性の高まり】
- 【文献を用いた学びの深化】
- 【学生の自己学修や思考の時間の増加】
- 【教員の時間をかけた綿密な指導】
- 【個々の学生の学修状況や考えの把握のしやすさ】
- 【学生への個別指導や対応のしやすさ】
- 【学生の心理的負担の軽減】
- 【振り返りと共有学修の充実】
- 【学生の感染管理とリスクの軽減】



まとめ

- 遠隔授業形式による実習と学内実習の双方で、〔学生の自己学修時間が増えた〕〔学生の参加状況が把握しやすい〕〔学生の学修進度が把握しやすい〕〔学生に教材が提示しやすい〕というよかったです点が示され、学生の学びの深まり、学修意欲や主体性の高まりなどの学修に関する効果が見られた。
- 臨地、遠隔、学内など、多様な実習形態における学修がハイブリッドに融合することで、人やリソースを結び合わせ創発する学びを生成する効果が期待される。

ノットワーキング(Knotworking)* つながりを創発する実習の形態を考える

*Engestöm, Y. (2008) /山住勝広・山住勝利・蓮見二郎訳 (2013).
ノットワークする活動理論 チームから結び目へ. 東京: 新曜社.